



朝一小だより

活気あふれ、心が躍い、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

・考える子
・やさしい子
・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和7年5月1日

児童数 611名



いつの日かキラキラしてくるのだから

校長 金子 二郎

青い空を背景に、樹々の若葉が大変鮮やかな季節となりました。地球温暖化の表れなのでしょう、最近は猛暑の夏が長くなりまた時には大雪をもたらす冬はともかく、春と秋を味わう時間がなくなってしまったとも言われます。それでも、頬をなでる爽やかな5月の風の中に身を置けば、自然と元気が湧いてくるという方も少なくないかと存じます。保護者や地域の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今年度も本校の教育活動にご理解とご協力を賜っておりますこと、まづもって御礼申し上げます。



一年生が入学し3週間ほどが経ちましたが、学校生活にも慣れ、休み時間ともなれば元気に跳び回る児童の声が校庭に響いております。最近は学年の別を問わず、話し掛けられる機会も増え、感心させられたり「負けてられないな」とエネルギーを分けてもらったりします。「大きくなったら〇〇になるんだ」と、自分の夢を熱く語ってくれる児童もたくさんいます。これまでも学校だよりで夢を実現するために

努力することの大切さに触れてきましたが、実は私自身はというと小学生だった時分はあまり周囲を気にすることもなく、どちらかと言えばのんきだったせいかな将来の夢についてあまり真剣に考えた記憶がないので、羨望すら覚えます。それでも、若い頃には今しかできないことに夢中になり充実した毎日を送ることも、具体的な将来の夢をもつことと同じくらい大切なのではと思います。日本ペンクラブ編の「泣いたあとは、新しい靴をはこう。」(ポプラ社)の中で、「ぼくには夢や目標がありません。(中略)ぼくは、どうしたら変わるんでしょうか。」という中学生の男性からの質問に対し、児童文学作家の芝田勝茂さんは次のように答えています。「…いま、きみに夢や目標がないんだったら、それでいいよ。キラキラしているひとだって、最初からキラキラしてるわけじゃなくて、きっと、たまたまそういう出会いがあったんだと思う。それに気づいたひとだと思う。でも、気づいてよかったかどうかは、だれにもわからない。ただ、必死にやっているだけなんだろう。(中略)大切なのは、世の中を、いろんな人間を、すなおに見つめることができるかどうか、じゃないのかな。ねたんだり、うらやむんじゃなくて、ありのままのそのひとを、しっかり見つめることができるかどうか。そこからすべてがはじまるような気がする。…」柴田さんの言葉は最後に「ひとは笑うかもしれないけど、ほんとにたたかっていると、そんなことは気にならない。そんはひまは、ないんだよ。」と締めくくられています。7歳でも12歳でも20歳でも60歳でも、わき目も振らずたたかうことのできる何かを見つけるチャンスは訪れると信じ、気長に待ちたいものです。



は次のように答えています。「…いま、きみに夢や目標がないんだったら、それでいいよ。キラキラしているひとだって、最初からキラキラしてるわけじゃなくて、きっと、たまたまそういう出会いがあったんだと思う。それに気づいたひとだと思う。でも、気づいてよかったかどうかは、だれにもわからない。ただ、必死にやっているだけなんだろう。(中略)大切なのは、世の中を、いろんな人間を、すなおに見つめることができるかどうか、じゃないのかな。ねたんだり、うらやむんじゃなくて、ありのままのそのひとを、しっかり見つめることができるかどうか。そこからすべてがはじまるような気がする。…」柴田さんの言葉は最後に「ひとは笑うかもしれないけど、ほんとにたたかっていると、そんなことは気にならない。そんはひまは、ないんだよ。」と締めくくられています。7歳でも12歳でも20歳でも60歳でも、わき目も振らずたたかうことのできる何かを見つけるチャンスは訪れると信じ、気長に待ちたいものです。

めることができるかどうか、じゃないのかな。ねたんだり、うらやむんじゃなくて、ありのままのそのひとを、しっかり見つめることができるかどうか。そこからすべてがはじまるような気がする。…」柴田さんの言葉は最後に「ひとは笑うかもしれないけど、ほんとにたたかっていると、そんなことは気にならない。そんはひまは、ないんだよ。」と締めくくられています。7歳でも12歳でも20歳でも60歳でも、わき目も振らずたたかうことのできる何かを見つけるチャンスは訪れると信じ、気長に待ちたいものです。



他人のように上手くやろうと思わないで、自分らしく失敗しなさい (大林 宣彦)



朝一小だより

活気あふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

・考える子
・やさしい子
・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和7年6月1日

児童数 614名



大切なのは友達ではなく仲間です

校長 金子 二郎

「二季化」という造語が跳び出す程、熱中症が心配されるような夏を先取りした5月も次第にぐずつきはじめ、梅雨を思わす空模様となりました。新学期が始まりはや2か月が経ち、614名の児童もだんだん学校に慣れてきて、学習に運動に自分なりに挑戦する毎日を送ることができているようです。保護者や地域の皆様には子供たちを支えていただき、本当にありがとうございます。わずか2か月足らずの間に本当に多くの皆様に本校へ足を運んでいただき様々な機会でご支援くださり、心より感謝しております。



さて、「一年生になったら、友達100人できるかな♪」と元気に歌っていた新入生も、逞しい一小生の顔を見せてくれています。もちろん全員で106名という一年生なので、比喻だとしても100人と友達になるのは至難の業です。逆に他の学年も含め「新しいクラスになってなかなか友達ができない」と誰にも打ち明けられず困っている子もいるかもしれません。SNSをはじめコミュニケーションの仕方が変わったこともあり、子供の社会(コミュニティ)も私たちの頃とは大きく変容する中で、「友達のことで」悩む子も増えているようです。私はアニメ「攻殻機動隊」のファンですが、監督を務めた押井守さんは、著書「やっぱり友だちはいらない。」の中で次のように述べています。

「友だちはいいというふうに決め付けているのが、僕には理解できない。その決め付けがあるから、友だちがいない自分はおかしいんじゃないか、人間性に欠陥があるんじゃないかと悩み、世間だって、友だちのいないあいつはヤバイやつだとか、悪人かもしれない、なんて色眼鏡で見るようになる。(中略)「便所メシ」という言葉もよく聞くんだけど、



それはお弁当を一緒に食べる友だちがいないことをクラスメイトに知られると恥ずかしいから、トイレに隠れてひとりで食べるということでしょう？なぜ『友だちはいませんが、何か?』と言えないのか。若い子たちがファミレスでご飯を食べている姿を見て驚くのは、ふたりがしゃべってるんじゃなくて、それぞれがスマホをいじっているところ。みんな誰かしらにコンタクトを取ろうとしているんだろうけど、そういう関係って結局”ストック”を増やしているだけなんだよ。(中略)ストックが100あれば、ひとりふたりいなくても痛くも痒くもない。クオリティじゃなくて数で勝負しているわけだ。」仲間に救われた経験もありますし、友達の良さを一切否定する訳ではありませんが、一人でいることに負い目を感じ、何とかして友達を増やそうと自分に無理をすることで却って苦しくなるのは本末転倒です。見栄としての友達よりも自分らしく生活することが大事なのだと大人が子供に気付かせてあげなければならないと思います。



友達に好かれようと思わず、友達から孤立してもいいと腹をきめて、自分を置いていけば、本当の意味でみんなに喜ばれる人間になれる (岡本 太郎)